北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 （整理番号）	緑内障病態に関連する眼循環、眼球構造および視機能の検討（B26-088）
当院の研究責任者 （所属・職位）	医学部眼科学　教授　庄司　信行
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	緑内障は視神経の障害により視野障害が進行する疾患であり、眼圧は最も重要な危険因子ですが、眼圧のみでは病態を十分に説明できないことが知られています。近年では、眼球内の血液の流れ（眼循環）が緑内障の発症や進行に関与する可能性が注目されています。 本研究では、通常診療で取得された OCT（光干渉断層計）、OCTA（光干渉断層血管撮影）および LSFG（レーザースペックルフローグラフィ）などの画像検査ならびに診療情報を用いて、緑内障眼および健常眼を対象に、眼循環、眼球構造および視機能との関連について検討します。また、強度近視や緑内障手術がこれらの指標に及ぼす影響についても解析します。 本研究により、緑内障の病態解明を進めるとともに、将来的な診断や治療効果判定に有用な知見を得ることを目的としています。
調査データ 該当期間	2020 年 7 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	① 北里大学病院眼科外来において、OCTA 検査を施行した緑内障患者さん ② 片眼に眼疾患、反対の眼が健常眼で、OCTA 検査を施行した患者さん ③ 北里大学医学部・病院倫理委員会 承認番号 B20-064「早期緑内障眼の機能（視野）と構造（神経・血管の関係を解明する研究）」に基づき情報が取得され、説明文書・同意書において研究データの二次利用について同意が得られている緑内障患者さんおよび健常者の方
研究の方法 （使用する試料等）	利用する情報 2020 年 7 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究の遂行のための費用は、眼科学医局研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

	ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： **所属・職位：医学部眼科・教授** **担　当　者：庄司　信行（ショウジ　ノブユキ）** **電　　話：042-778-8464**
備　考	